

四国観光 第二弾

香川県編②



NHK大河ドラマ「平清盛」や「うどん県」など、何かと話題の多い香川県。瀬戸大橋が開通してから20年以上が経ち、大阪から3時間程度でアクセス可能な「身近な観光地」として定着しています。前回の小豆島に引き続き、香川県の魅力について、香川県大阪事務所の方に伺いました。

香川県のあらまし 気候と産業

香川県は四国の北東部に位置し、瀬戸内海に小豆島、豊島、直島、塩飽諸島など100あまりの島々があります。かつては全国で2番目に面積の小さい県でしたが、大阪府の臨海部が埋め立てられたことなどにより、昭和63年に大阪府に逆転され、47都道府県のなかで1番小さい県になりました。

気候は年間を通じて雨が少なく晴天の日が多い瀬戸内式気候で、昔から水不足に悩まされてきました。農業用水を確保するため、奈良時代以降、満濃池や豊稔池をはじめ、1万4千以上のため池が造られ、今も多くが利用されています。現在は、吉野川上流に建設された早明浦ダムに水を溜めています、この水を徳島県三好市の池田ダムの取水工から讃岐山脈を貫く約8kmの導水トンネルで、三豊市に導き、さらに東西にのびる水路で、農業用水や都市用水として県内各地に水を送っています。

農業の面では、年間雨量が少なく日照時間が長い温暖な気候を利用した色々な野菜を生産しており、農業産出額の約3割を占めています。金時りんじんは全国1位の生産量で、今が年明けどりのシーズン。約65%が関西圏に出荷されています。

このほか竹糖というさとうきびを原料とし、高級和菓子に使われる和三盆、麦味噌や麦茶の原料となるはだか麦、観賞用植物のマーガレットの生産が全国有数です。水産業は、養殖業が盛んで、東



香川県の豊かな風土の中で生まれ、人々の手から手へと受け継がれてきた伝統的な工芸品の香川漆器や丸亀うちわ。

かがわ市は世界で初めてハマチの養殖に成功しています。平成20年、ハマチ養殖80周年の節目の年にブランドハマチの創出等を目的とした研究会が設立され、香川県特産のオリーブの葉の粉末を加えた餌を与えたことにより誕生したのが、香川だけのブランドハマチ、オリーブハマチ」です。

地場産業では、東かがわ市などで日本の手袋の約90%を生産し、さぬき市では明治40年からボタン作りが続いており、貝ボタンが製造されています。国指定の「伝統的工芸品」として、香川漆器と丸亀うちわが有名です。香川漆器は、高松藩主が茶道や書道をすすめたことに始まります。なかでも代表的な技法である蒔^ま置^まは、うるしをぬり重ねてから色ごとに線彫りし、その溝に色漆を埋める作業を繰り返し、象嵌^{ぞうがん}する独特のもので、丸亀うちわは、17世紀に金刀比羅宮の参拝客のみやげものとして売り出したのが始まりで、竹製のうちわに柿渋を塗る伝統的なもののほか、現在ではポリプロピレン製のうちわ（ポリうちわ）が全国で使われています。

うどんについて

「うどん県」と銘打って県をPRしている香川県。県内には、うどん店が750店以上あり、毎食時に違う店で味を楽しむ人もいます。また期間限定（平成24年3月31日まで）で、讃岐うどん味めぐりという³コースの定期バスが運行（コースにより運休日は異なる）しています。高松市、坂出市を出発し、栗林公園、善通寺など主な観光地と人気のうどん店での食事。さらに、うどん学校での手打ち体験、工場見学、醤油蔵の見学までという、盛り沢山のコースが大人1000円、子供500円で乗車できるといっから驚きです。土地に不慣れな方でも安価に香川の魅力を体験できると好評です。

うどん発祥については諸説あり、明確なことは分かっていません。香川県では804年に唐に留学した空海によって讃岐にもたらされ、その製法が甥の智泉大徳に伝えられたとの言い伝えがあります。讃岐のうどんに関する最も古い資料は、金刀比羅宮に伝わる「金毘羅祭礼図」と呼ばれる元禄時代（約³00年前）

の絵屏風で、当時の門前町の風景のなかに3軒のうどん屋が描かれており、職人が店先で粉をこねたり、うどん生地を麺棒で延ばしたり、包丁で切ったりしており、そのころから本格的に広まったのではないかと言われています。その後、香川県では正月、祭りなど「八日の日」にうどんを作るのが慣わしになっていたようです。昭和時代には小さな製麺所が発展し、やがて店で客に食べさせるようになり、次々とそうした「うどん屋」が増えていきました。1960年ごろには「讃岐うどん」という呼称が一般的になり、全国にその名を知られるようになりました。



NHKの大河ドラマ「平清盛」が放映中で、瀬戸内海域の観光が注目されています。

1156年、天皇の跡継ぎをめぐって後白河天皇と崇徳上皇との間で保元の乱がおきました。破れた崇徳上皇は讃岐の国に流され、現・坂出市で亡くなります。1185年には、

源氏との戦いで、京都から西へ逃れた平氏を、源義経の軍が屋島の戦いで破り、壇ノ浦の戦いで平氏が滅亡しました。なお、瀬戸内の島々では、2010年夏、多くの人を魅了した、瀬戸内国際芸術祭作品の一部が展示継続しており、今ならゆつくり鑑賞できます。瀬戸内海に溶け込んだ「ここだけの」アートの鑑賞はいかがでしょう。

香川県大阪事務所

大阪市中央区東心斎橋1の18の24クロスシティ心斎橋4階

06・6281・1661

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞